

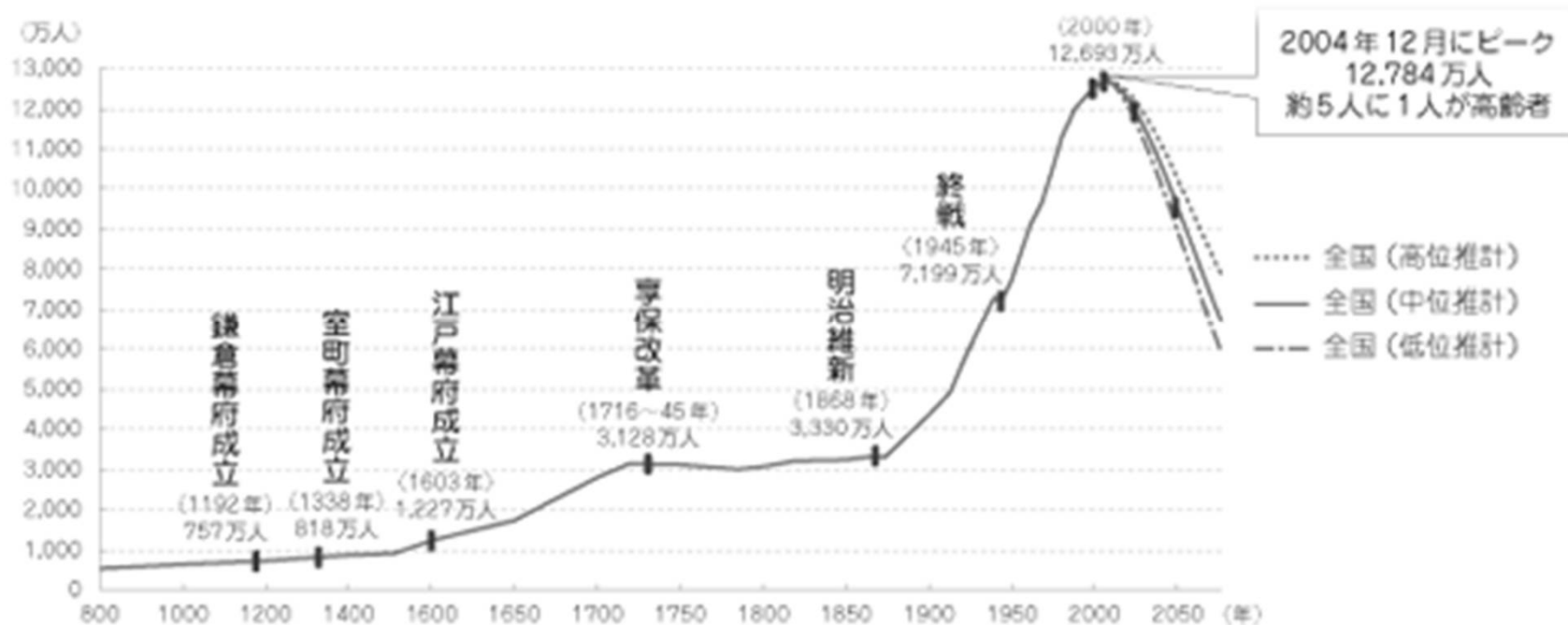
まちづくりの視点から 公共施設を考えよう！

野口和雄

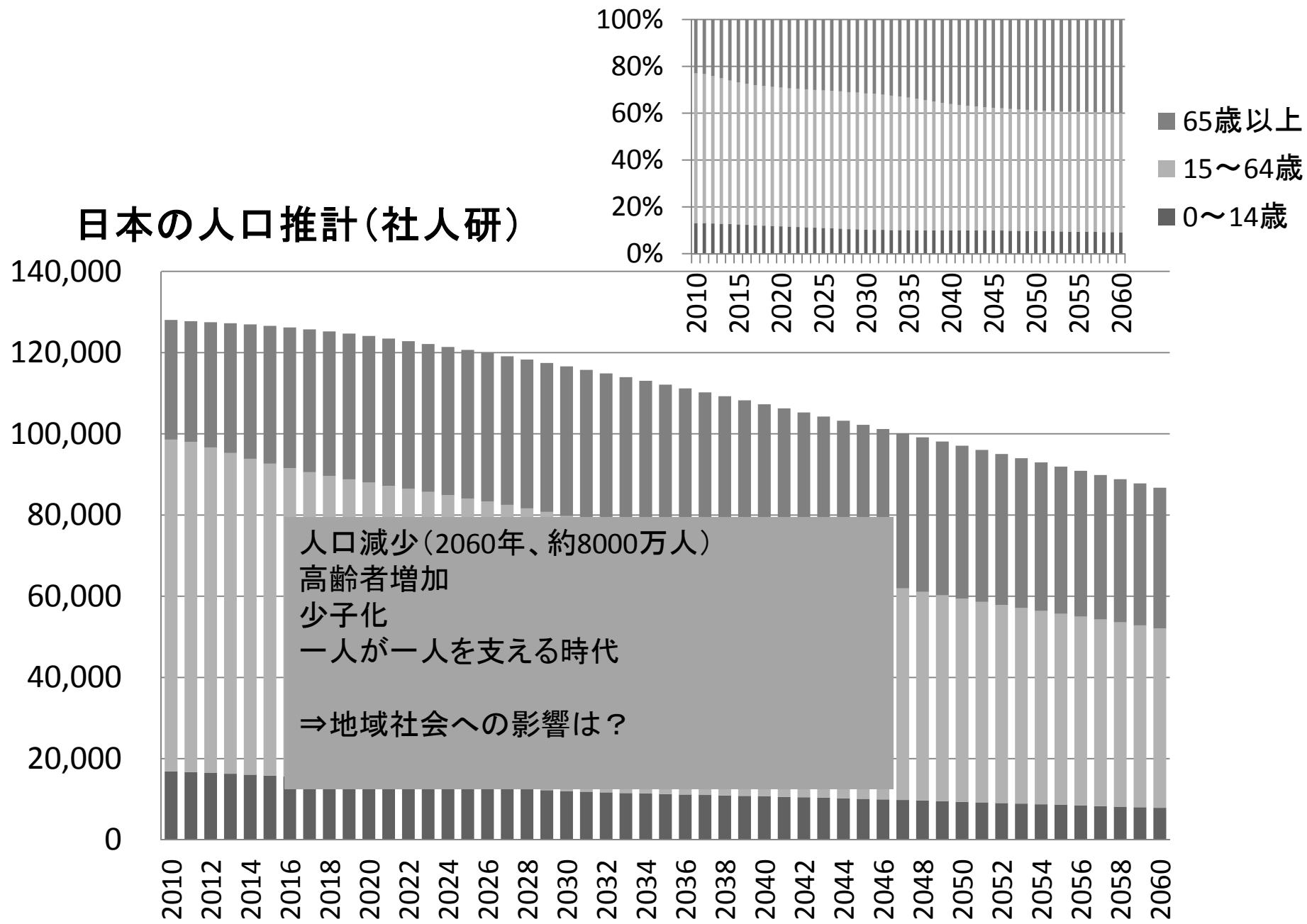
都市プランナー

法政大学現代法研究所研究員

横浜商科大学兼任講師



日本の人口推計(社人研)



時代の変化 / 人口減少社会は、社会への負荷が高まります

人口ボーナス期

人口増加

子ども増加

世帯増加

都市膨張

ヨコへの膨張

タテへの膨張

公共施設整備

インフラ整備

公共建築物整備

無計画的整備

自治体財政

民間負担



人口オーナス期

人口減少

少子高齢化

世帯減少

都市「縮小」

膨張しながら「縮小」?

公共施設

整備と再整備

売却、減築

再配置

PPP

泥縄式撤退

防災、ライフライン

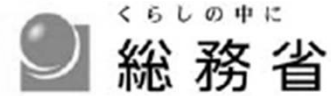
自治体財政

需要の減退

選択と集中

政府は公共施設等総合管理計画の策定を要請

報道資料



MIC Ministry of Internal Affairs
and Communications

平成26年4月22日

公共施設等総合管理計画の策定要請

本日、地方公共団体に対して、公共施設等の総合かつ計画的な管理を推進するため、速やかに「公共施設等総合管理計画」の策定に取り組むよう要請を行いました。

(別添1)

また、「公共施設等総合管理計画」の記載事項・留意事項をまとめた「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」を地方公共団体に対して通知しました。

(指針概要：別添2、指針本文：別添3)

公共施設等総合管理計画に基づく老朽化対策の推進イメージ

公共施設等の管理

- 長期的視点に立った老朽化対策の推進
- 適切な維持管理・修繕の実施
- トータルコストの縮減・平準化
- 計画の不断の見直し・充実

まちづくり

- PPP/PFIの活用
- 将来のまちづくりを見据えた検討
- 議会・住民との情報及び現状認識の共有

国土強靱化

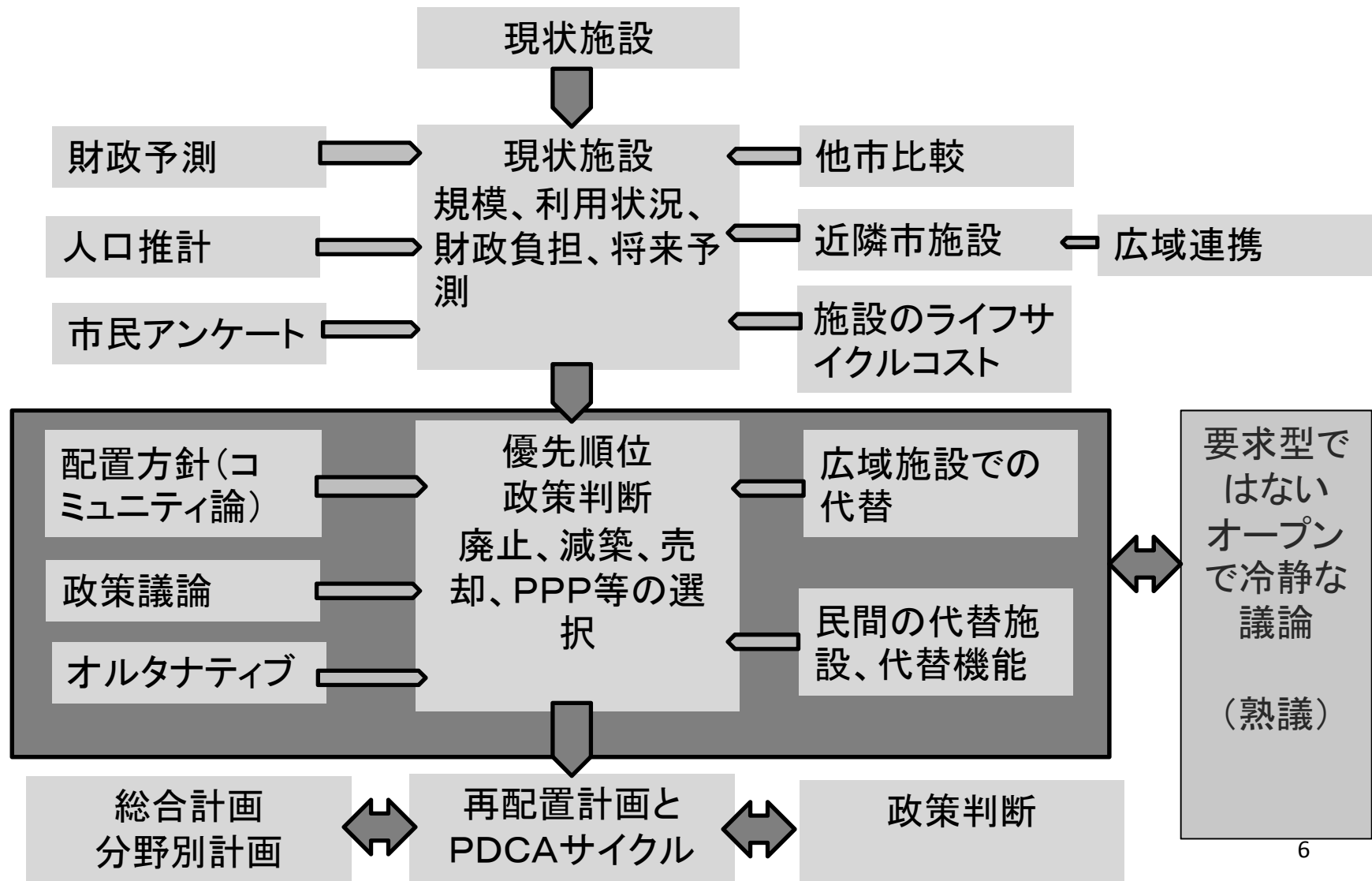
- 計画的な点検・診断
- 修繕・更新の履歴の集積・蓄積
- 公共施設等の安全性の確保
- 耐震化の推進

民間からの提案・投資促進

21

しかし、何か足りないと思いませんか？

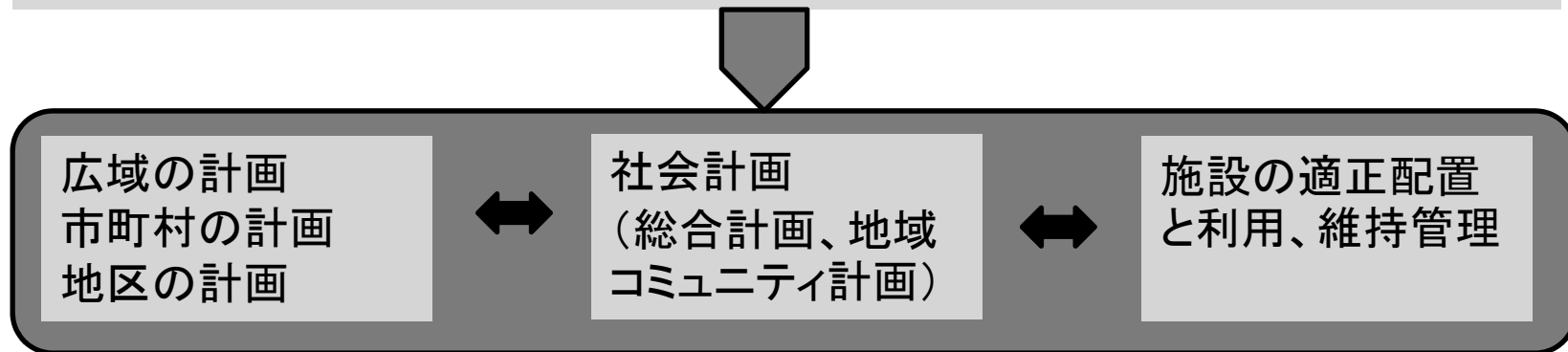
そこで、今後の公共施設のあり方を考える必要がある



そこで施設配置・設計の原則を考えてみましょう

そもそも、どう考えたら良いか？

- ①地域コミュニティの単位と段階的な施設配置
- ②バランスある地域コミュニティ(多様な世代、世帯)
- ③施設設計と監理運営への市民参加
⇒参加こそが本質である、という思想(計画、建設と管理)
- ④可変可能な施設設計と監理
- ⑤有機的結合(例/子どもとお年寄り、健常者と障がい者、……)
が生まれる空間のデザイン



市民がつくる公空間

『かがわ7丁目』 茅ヶ崎市香川7-3-45



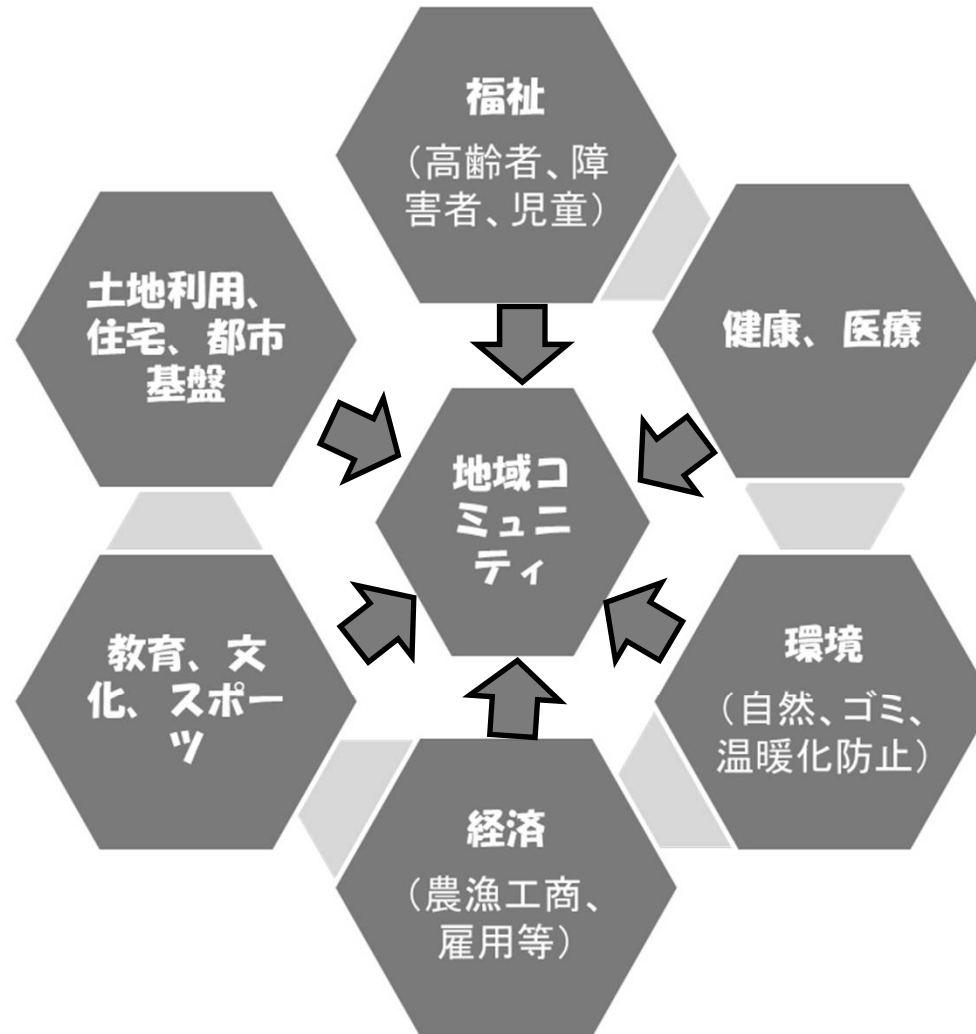
【代表者】「デイサービスあのん」
 【建築年月日】昭和54年新築(昭和63年、平成18年増築)
 【経緯】「デイサービスあのん」にて建物一棟賃貸契約し、離れが空いており、賃貸フリースペースとして利活用。2階は別団体の倉庫として貸し出し。
 【運営費】スタッフはボランティア。社会福祉協議会より7万円(H26年/補助)。
 【利用料】300円
 【開催日】毎月第2・4火曜日 10:30~15:00(コミュニティ)
 毎週月・木曜日 10:30~15:30(子育て)
 他 和室の会議スペース、図書室(図書貸し出し)
 【参加人数】10名前後



持続可能な地域コミュニティ形成

仕組み 制度

例
地域組織
地域包括
ケア
地域協議
会
多様な主
体連携の
仕組み
等



主体 と 連携

例
市民
専門家
NPO
ソーシャ
ルビジネ
ス
民間事業
者
行政
等

つくるノウハウを伝授します
要注意
秘伝ですので見るだけです

「パタン・ランゲージによるまちづくり」

By

クリストファー・アレグザンダー,
Hiroshi Nakano

事例

真鶴町「美の基準」と「コミュニティ真鶴」
盈進学園東野高校
川越蔵造の街のルール